



京津線 ぶらり途中下車

坂が多く、自転車で行くのはなかなか大変な山科・大津方面も、電車を使えばラクに気ままな旅が楽しめます。小さな駅でふらりと途中下車してあちこち散策——京津線でそんな休日を通してみてはいかがですか。(深夜)



市営地下鉄東西線
三条京阪

けいしんせん 京津線とは？
名前に表れている通り、京都と大津を結んでおり、地下鉄の御陵駅から琵琶湖のほとりにある浜大津駅までのわずか7駅と短い路線。4両編成の電車が昼間は15分間隔で走っていて気軽に乗り降りできる。

乗り放題きっぷ
京津線と大津市を走る石山坂本線が1日乗り放題になる「湖都古都おとおつ1dayきっぷ」は学生400円とお手ごろ。京阪の三条駅ほか、御陵と大谷を除く京津線各駅でも購入できる。地下鉄の三条京阪～御陵間は片道250円が別途かかる。要注意。

四宮
しのみや
SHINOMIYA

四宮駅で電車を降りて旧東海道を歩いていると、街の一角に古い六角堂を発見。扉は閉ざされているものの、中には山科地蔵という大きなお地蔵様が一体。これは「京の六地蔵」の一つで、全部巡るとさまざまご利益があるといわれている。もともとそれらは現在の六地蔵という土地にまとめられていたが、約850年前に京の入り口に分散させられ現在に至るとのことだ。六角堂の裏手にはわらべ地蔵もいて、とてもかわいらしい。





上栄町
かみさかえまち
KAMISAKAEMACHI

電車が急なカーブを右へ左へゆっくり下っていく途中で鳥居のある珍しい踏切を通る。行ってみるとそこは関蟬丸神社の入口だった。芸道の神として蟬丸を祀っているせいか境内には神楽殿があり、奥にある少し朽ちかけた本殿はくると一周できる風変わりな構造で興味深い。……とあれこれ見学していると、踏切が鳴り出して境内に閉じ込められてしまった。何とも言えない気分だ。



駅から来た道をさらに進むと日本初の鉄道トンネルとして知られる逢坂山トンネルにも足を伸ばせる。明治13年に東海道本線として完成、大正時代にはルート変更で役目を終えたが、今では京大の防災研究所が地殻変動の観測などに使っている。入口から少し足を踏み入ると、ひんやりとした湿気に包まれる異空間を味わうことができた。




御陵
みささぎ
MISASAGI

三条京阪から地下鉄で3駅。京津線の最初の駅、御陵に到着。御陵(ごりょう)とは一般に天皇や皇后などの墓所を指す言葉で、ほど近くに駅名の由来となった天智天皇山科陵があるようだ。早速行ってみる。天皇の墓というだけあって敷地はとても広い。森の中央に位置する墓所は街の喧噪から隔絶された厳かな空間。木々が鬱蒼と茂る中に延びる参道も歴史の深さを感じさせる。参道を戻り、山科陵の脇の住宅街をゆるく登っていくと山際で琵琶湖疎水に突き当たる。疎水をまたぐ朱色の橋を渡って本圀寺へ。人里離れ、こぢんまりとした境内かと思ながら山門をくぐると鳥居、灯笼、仁王様にしゃちほこ随所に金色が散りばめられた華やかさにびっくり。金運に恵まれそうなスポットだ。





浜大津
はまおおつ
HAMAOTSU

左右で脚の長さが違うベンチ
大谷駅は日本で2番目に傾いている駅。座面を水平にするため、ベンチは左右で脚の長さが異なる特別仕様。

道路を走る電車
上栄町から浜大津までの区間は路面電車に変身。自動車用の信号機に従って走る電車はなかなかシュール。





はみだしすてーじ 夏期休暇無期限延長中 ⇒その勢いで在学期間も延長しましょう！

(経・2 テナジー64) (スローライフ；編)

はみだしすてーじ 大変、単位が息してない。⇒大変、単位を遺棄してしまった……。

(法・4 シャンパリーレ) (降ってくるとしても単位を拾いに行く努力は必要；編)